

令和2年6月3日

奈良県教育委員会事務局

学校教育課 山内 祐司 課長 様

奈良県 PTA 協議会

会長 筒井 義一

本会の活動に対し、平素より何かとご理解、ご配慮いただいておりますことに対し、心より深謝申し上げます。

さて、先の「奈良県公立高等学校入学者選抜学力検査問題の出題範囲の検討について」の報道発表を受けて、保護者や学校の先生方からなる本会では、臨時の役員会を開催いたしました。当日は、学校の再開のことも含め専門的な見地からのご意見を賜るべく県中学校長会の代表者様にも参加をお願いいたしました。その際でた意見を次にまとめました。子をもつ親の切なる思いとして、お聞きいただければ幸いです。

来春高等学校進学を目指す受検生はもとより、すべての子ども達が精神的に不安に陥ったり、過度の不公平になったりしないよう細心のご配慮をお願いいたします。

① できるだけ早い時期に、この件に関しての方針や内容について具体的な情報の公開を望みます。

特に、出題範囲と問題の難易度の関係について、十分な配慮をお願いします。

② すべての子ども、保護者に同質、同量の情報が届く手だての工夫を望みます。

③ 中学校と連携していただき、評定の算出や調査書の作成に関して、保護者、生徒に対し、十分な説明をしていただくよう指示、依頼をお願いします。

これまで経験しなかった出来事の連続で、保護者や子ども達は先が見えず、本当に不安で混乱しております。例えば、実際に高校を訪れ自身で体感するオープンスクールや中学校生活の大きな部分の1つであった部活動などはどうなってしまうのか。その辺りの子ども達の心情をおくみいただき、大切な子ども達の時間をできる限り確保できるよう、適切にご対応いただきますようよろしくお願いいたします。